



金比羅岬

鳥居と夕景の美しさで知られる
絶好の記念撮影スポット

豊岬(とよさき)漁港の南、公園全体が道の駅に指定されている「みさき台公園」の先端にある「金比羅岬」は、海の中に建っている金毘羅神社の鳥居と夕景の美しさで知られています。鳥居に重なるように落ちる夕陽はまさに絶景で、記念撮影の人気ポイントとなっています。

「金比羅岬」と「金毘羅神社」の由来については諸説ありますが、「北海道の口碑伝説」には、それまでの「日本海岸初山別村字イナウシナイ風連岬」が「金比羅岬」と呼ばれるようになったことについて、「今から40～50年前のある日、この風連岬に一枚の金毘羅神社の御札が漂着し、それを奥瀬西松という漁夫が発見したことによる」と記されています。奥瀬西松はこのままではもったいないと、あらためて御札を海に流しましたが、翌朝になると再び同じ場所に漂着したといいます。こんなことが3、4回繰り返されたので、何かこの地に不思議な因縁があるに違いないと思い、付近の岩の上に祀りました。元々この辺りは波が高いところで、幾度となく船が遭難していましたが、この金毘羅様を祀ってからはほとんど事故がなくなったので、いつしか風連岬を「金比羅岬」と呼ぶようになったそうです。

大正15年(1926年)には奥瀬西松らが金毘羅宮発起人となり御堂を改築。昭和28年(1953年)にもコンクリート造りの御堂などを新築しました。これらの経費は村民の寄付金によってまかなわれました。神社に感謝するお祭りも毎年夏に開催され、さまざまな行事が岬周辺で行われています。

見どころ

国道232号の海側に広がる約20万㎡のみさき台公園は、公園全体が道の駅「☆ロマン街道しょさんべつ」に登録されています。この公園から眺める金比羅岬の夕景は美しく、水平線の向こうには利尻島や天売、焼尻島の姿を見ることが出来ます。

ポイント

金比羅岬はその昔、風連岬と呼ばれていましたが、この岬に流れ着いた金比羅様の御札を漁師が祀った後、この付近での海難事故が減ったことから「金比羅岬」と呼ばれるようになりました。現在も毎年夏には金比羅様に感謝する盛大な祭典を行っています。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



みさき台公園には様々な施設があります。中でもキャンプ場は人気があり、打ち寄せる波の音とともに、見事な夕日を眺めながらのキャンプは格別です。



日本海を一望できるレストラン「北極星」では、めずらしい「ふぐだしスープ」を使用した麺類や軽食などを提供しており、道の駅「☆ロマン街道しょさんべつ」では特産品も販売されています。



星がきれいなこの岬には天文台が設けられ、気軽に天体観測が楽しめます。星に名前をつける「マイスターズシステム」もあり、天体望遠鏡を通して宇宙の神秘を知ることができるでしょう。



金比羅神社

■基本情報(R7.3)

問い合わせ：初山別村役場
TEL：0164-67-2211